

## 共通開講科目(アオッサ) 情報処理／福井医療大学

科目名/提供大学名	情報処理/福井医療大学
科目名(英文)	Information Processing & Information Literacy
対象学年	原則として、全学年。
開講時期	前期
単位数	2単位
科目区分	選択
授業形態・開講形態	講義、演習
担当教員名	塩見 格一
オフィスアワー	福井医療大学リハビリテーション棟4階研究室においては、午前9:10～午後18:20まで、及び講義の前後に質問は受け付けます。
教員メールアドレス	k-shiomi@fukui-hsu.ac.jp
概要	情報処理技術の発展を歴史的な視点を持って理解し将来的な展望を得られるように、現代社会における情報処理技術の適用を俯瞰的に見渡すと共に、個々の要素の分析的な理解を深めるための技術を獲得する。
学習・教育目標との関連	各大学の目標との関連は、科目の提供大学側では書けないと思われます。
授業目標・目的	健全な社会人に求められるガバナンスやコンプライアンスに対する理解と適正な姿勢を身につけることを踏まえながら、高度情報処理社会において個人に求められる情報リテラシーの獲得を目指す。
身につけることを目指す社会的・職業的能力(汎用的能力)	<input type="checkbox"/> 自他の理解能力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 情報収集・探索能力 <input type="checkbox"/> 社会・職業理解能力 <input type="checkbox"/> 役割把握・認識能力 <input type="checkbox"/> 計画実行能力 <input type="checkbox"/> 選択能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題解決能力
学生の目標・到達目標	高度情報処理社会において、個人には、日常生活の営みにおいてインターネット等情報処理基盤の活用に係る一定の技術(情報リテラシー)が求められると共に、社会において果たすべき役割に対して情報処理基盤の利用が許可されている。情報処理基盤を、不正を排除し適正に運用するためには、上記一定の技術に加えて、基盤を共有する社会のガバナンスやコンプライアンスに対する理解と、適正な姿勢が必要である。個々の能力を大幅に拡大し、時に無限の可能性を与えるように見える情報処理基盤が諸刃の剣であることの理解の上に、これに対する技術と姿勢をバランス良く身につけることを目的とする。
授業計画・授業内容	第1回 情報処理基盤を安全に有効に利用するための基礎知識 第2回 インターネットを利用した知識や情報の収集と、その信頼性を検証する手法 第3回 個人情報の保護等々から、情報の管理に係る倫理とセキュリティ 第4回 コンピュータの仕組み、発展の歴史 第5回 日本語ワープロ/表計算ソフト/プレゼンテーションソフトの利用方法 第6回 映像や効果音を利用した動的なマルチメディア・プレゼンテーション 第7回 WWWの歴史、Webページの作成 第8回 電子メール/SNS等々の利用方法とこれに係るトラブルや危険性 第9回 アルゴリズムとプログラミング、プログラミング言語 第10回 アプリケーション・デザイン 第11回 高級言語、数式処理言語、統計処理言語、更には機械翻訳と自然言語処理 第12回 知識処理、データマイニング、ビッグデータ 第13回 コンピュータ支援による教育とコンピュータ・シミュレーション 第14回 情報処理基盤の構築と運用に係るガバナンスとコンプライアンス 第15回 情報処理技術の将来的な展望
授業方法	インターネットを利用して課題を実施する。アプリケーションの種類によっては、また Arduino 等の学習用のコンピュータを利用する場合には、その処理を見学的に体験する場合があります。
キーワード	コンピュータリテラシー、ITコンプライアンス、ガバナンス、リスクマネジメント
教科書	
参考書	岡本敏雄監修「よくわかる情報リテラシー」技術評論社 川合慧著「情報:東京大学教養学部テキスト」東京大学出版局
評価方法・評価基準	毎回の授業内容に対して、その理解度を示す課題を設定するので、それに対する論述、またプログラミング課題については作成課題の提出により評価する。論述においては、コピペチェック(CopyContentDetector、他)により、コピペレートが70%以上であれば不合格とする。
関連科目	
履修の要件	インターネットに接続可能なノート型のパソコンを常に利用可能であること。
必要な事前・事後学習	毎回講義におけるの課題の実施には、事後の課題実施時間が必要になる場合があります。
その他・注意事項	授業計画に記す15回の内容につき、課題評価や準備状況によって実施順序が変更になる場合があります。